

災害ボランティア講座

～災害ボランティア活動の果たす役割と“受援力”の必要性～

受援力とは、災害時に使われる用語でボランティアを地域で受け入れる環境・知恵などのことです。

災害が発生した後、復興を迅速に行うことでいつまでも住んでいる地域に住み続けることができます。受援力を高めることは復興を早める要因の1つです。この機会に復興の理解を深めませんか？



【講師】 オフィス園崎 園崎 秀治(そのざき しゅうじ)氏



全国域の立場から、多様なセクターとの連携に重点を置いて被災地の災害ボランティア活動の後方支援を行ってきた。災害発生時にはネットワークを活かした情報収集、被災地へ出向いて全国段階の支援の必要性の見立てを実施。訪問した災害ボランティアセンターの数は150 を数える。直近の被災地支援は令和6年能登半島地震（石川県、富山県）。

【日時】 令和7年10月24日(金)

13:30～15:30(13:00 受付開始)

【会場】 隠岐の島町社会福祉センター 研修室

【対象】 どなたでも参加可能 **(参加費無料)**

【申込期限】 令和7年10月17日(金) **(定員 40名/先着順)**

【主催】 隠岐の島町社会福祉協議会

【共催】 隠岐の島町/隠岐の島町民生児童委員協議会/隠岐の島町共同募金委員会

※この講演会は赤い羽根共同募金が活用されております

お問い合わせ 隠岐の島町社会福祉協議会 地域福祉係 TEL 2-0685